

## 公益の森づくりボランティア研修参加

9月16日（金）酒田市北庄内森林組合酒田支所において、平成23年度出羽庄内公益の森づくり事業ボランティアリーダー研修（第2講）「松くい虫ってなんだろう」が開催されました。

庄内海岸林の保全活動に取り組んでいるふれあいセンターも当研修に参加し、当日は、行政関係、森林ボランティア団体、庄内地区森林組合等総勢25名の出席者となりました。

まず、庄内総合支庁森林整備課の講師から、「松くい虫とは」、「ベールマン法によるマツノザイセンチュウの抽出、観察」、北庄内森林組合酒田支所長から「松くい虫の防除方法」について講義を受けました。

その後の現地研修では、北庄内森林組合酒田支所周辺のクロマツ林で、松くい虫被害木の観察、ポンチによる潜在的感染木の判定法を受講しました。研修参加者のほとんどは森林組合や行政関係者で、松くい虫被害木の選定作業に携わる方も多かったことから、研修に対する熱意が感じられ、特に、現地研修での「松くい虫被害木」を選定するための観察手法やポンチ等による感染木の判定法では講師の先生の話に熱心に耳を傾けていました。

これから、松くい虫被害木の選定に携わる受講者は、「初めて、このような研修を受講しましたが、わかりやすかった。今後の業務のためになるのでありがたい。」との感想を話していました。

今回の研修を受講して松くい虫についての知識・理解が一層深まるとともに、クロマツ林を保全していくことの重要性を認識した次第です。

まだ、被害の絶えない松くい虫からクロマツ林を守り、庄内海岸林を後世に引き継いでいくための中核となる人材が増えていくことを期待します。

